

# 都市再生整備計画

よしみ さとえきしゅうへん ちく  
吉見ノ里駅周辺地区

おおさか せんなんぐんたじりちょう  
大阪府泉南郡田尻町

令和4年1月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォーカーブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	田尻町	地区名	吉見ノ里駅周辺地区	面積	76 ha
計画期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度	交付期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度				

**目標**  
 (大目標) 道路・地域交通の充実により、住み働き楽しく豊かさを感じるまちをつくる。  
 (目標1) 駅周辺の景観に配慮し、住民や来訪者の安全性の向上を図る。  
 (目標2) 交通環境を改善し、住民や来訪者の利便性の向上を図る。

**目標設定の根拠**  
 まちづくりの経緯及び現況  
 本町は、大阪府の南部に位置し、内陸部と大阪湾の5km沖合に位置する関西国際空港の一部からなります。内陸部の面積は約2.35km<sup>2</sup>です。このうち臨海部の0.04km<sup>2</sup>は、りんくうタウンや漁業施設用地として造成されたものです。一方、平成6年に開港した関西国際空港は2期工事も完成し、町域である泉州空港中の面積が約3.27km<sup>2</sup>であるため、現在の町の総面積は5.62km<sup>2</sup>となっています。  
 本町の既成市街地エリアは孝子越街道が南北に貫き、街道沿いに古くから市街地が発達するとともに、大阪方面、和歌山方面との交流の軸になっていました。また、海岸部では漁港が発展するだけでなく、近代には繊維産業も発展し、その工場跡地には住宅開発が進むなど、新しい街並みが形成されています。そして、平成9年度には独立行政法人国際交流基金関西国際センターの設立により、海外の日本語学習者を奨励する訪日研修が実施され、研修生と地域の人々の交流事業が行われています。また、平成25年度には大阪府警察学校の設立により、学生は吉見ノ里駅を利用し、駅の需要は上昇傾向にあります。その後においても集合住宅やホテル、商業・飲食施設など複合的な土地利用が進みつつあります。  
 本町の道路網は、内陸部のほぼ外周を囲むように主要道路である都市計画道路(広域幹線道路)が整備されていますが、古くから形成された町の中心部には狭あい道路が多く残されています。吉見ノ里駅前周辺整備では、平成27年度に吉見ノ里駅に隣接した吉見ノ里1号踏切道の歩道設置(和歌山側)を行い、踏切道内の安全確保の向上を図りました。また、令和元年度には南海本線吉見ノ里駅(乗降客数3908人/日)の利便性の向上に向けた駅構内のバリアフリー化を行っています。  
 そして、鉄道以外の公共交通として令和元年5月から隣接する泉佐野市との連携によるコミュニティバスの運行を開始しました。  
 観光面においては、吉見ノ里駅から徒歩圏内に、日曜朝市、漁業体験「海の駅」としての来航などで活気を生み出している田尻漁港、まちの文化振興の拠点としての活用を図る田尻歴史館、誰もが利用しやすい魅力ある公園として、たじりっち広場があります。

**課題**  
 ・吉見ノ里駅北側の周辺道路は、一般に供用されているが、鉄道会社の私道であるため、路上駐車を取り締まりが難しく、慢性的に迷惑駐車がある状態で、安全面や景観面において、問題がある。  
 ・吉見ノ里駅舎横の踏切道が片側歩道となっていることから、歩行者の安全確保ができていない状況となっている。  
 ・コミュニティバスの停留所が吉見ノ里駅前にスペースがなく未設置であり、駅直近の停留所は100mほど離れた場所に設置されているため、乗り継ぎが不便な状況にある。  
 ・にぎわいを生む町の顔づくりとしての駅前の交流施設が未設置である。

**将来ビジョン(中長期)**  
 【第5次田尻町総合計画】(令和2年3月)  
 ●住民や来訪者の利便性や安全性の向上に向けた道路・地域交通の維持・充実を図ります。  
 ●田尻町の玄関口にふさわしい整備・誘導を進めます。  
 ●環境にやさしい交通機関として住民の鉄道利用の促進  
 【田尻町都市計画マスタープラン】(平成29年3月)  
 ●吉見ノ里駅周辺地区については、本町の顔づくりとして、駅前に至る道路の通行性の改善や駅前広場機能、駐輪場の整備を図るなど利便性を向上させるとともに、駅前における各種サービスの提供、本町の玄関口にふさわしい景観の創出など、吉見ノ里駅周辺地区の活性化に向けた機運の高揚に努め、人々が集い、賑わいを育む地区となるよう誘導します。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
迷惑駐車の台数	台/日平均	平日5日間の朝7時30分から8時30分及び夕方6時から7時の駅前周辺道路の駐停車車両台数の平均	迷惑駐車は交通事故及び景観を悪くする原因となっているため、迷惑駐車の減少を指標とする。	36	R1	7	R5
コミュニティバスの利用者数	人/6か月	半年間(6月から11月)における吉見ノ里駅前のコミュニティバスの利用者数(乗降数の合計)	吉見ノ里駅前にコミュニティバス停留所が移設され、停留所横にコミュニティ施設を建設することにより、交通環境が改善されることから、コミュニティバスの利用者の増加を指標とする。	1,665	R1	1,831	R5

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●整備方針1(吉見ノ里駅周辺道路等の整備を行い、住民や来訪者の安全性の向上と景観改善を図る。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場の整備とともに歩道設置などの道路改良を行う。(仮)田尻新線については路線認定、駐車禁止規制の設定を実施し、迷惑駐車の解消及び景観の改善を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■【基幹事業】町道新家田尻線1号道路整備(道路)</li> <li>■【基幹事業】(仮)田尻新線道路整備(道路)</li> <li>■【基幹事業】地域生活基盤施設(広場)</li> </ul>
<p>●整備方針2(駅前広場の整備を行い、コミュニティバスの停留所を移設し、住民や来訪者の利便性の向上を図る。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場にロータリーを設置し、コミュニティバスの停留所を設けることにより、バスと鉄道の交通結節点の強化を図る。</li> <li>・駅前広場にコミュニティ施設を建設することにより、鉄道とコミュニティバスなどの交通結節の強化と住民が交流する場を設けることにより、住民の利便性の向上を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■【基幹事業】地域生活基盤施設(広場)</li> <li>■【基幹事業】高次都市施設(地域交流センター)</li> </ul>
<p>その他</p>	





ヨシミ サトエキショウヘン オオサカ フセン ナン グン タ ジリチョウ 吉見ノ里駅周辺地区(大阪府泉南郡田尻町)	面積	76 ha	区域	嘉祥寺地区の一部、吉見地区の一部、りんくうポート北地区の一部
--	----	-------	----	--------------------------------

凡 例		容積率/建ぺい率
地 域 名		
第二種中高層住居専用地域		200/10
第一種住居地域		200/10
近隣商業地域		200/8
準工業地域		200/6
工業地域		200/6
市街化区域界		
行政区域界		
都市計画道路、巾着構成及び車線数		
公園・緑地		

